

平成27年度 糸魚川市算数部 活動報告

部長 田村 雅人

1 研究主題

「数学的な思考力・表現力を育て、学ぶ意欲を高める授業づくり」

2 研究の概要

今年度の糸魚川市算数部の活動は、糸魚川市立大和川小学校「新潟県小学校教育研究会学習指導改善調査研究事業公開校」と共催で実施した。

3 研究の実際

(1) 学習指導案検討会

期 日：平成27年10月15日(木)

概 要：

大和川小学校と糸魚川市教育研究会算数・数学部との学習指導案検討会を実施した。今まで校内で授業者の意図を汲みながらアイデアを出し合い、修正された学習指導案の検討を行った。第三者的な視点も交え、本学習指導案のよさや改善点の意見交換ができた。

(2) 授業公開・授業協議会

期 日：平成27年11月6日(金)

授業者：糸魚川市立大和川小学校 教諭 山岸 辰徳

会場等：糸魚川市立大和川小学校 4年教室

単元名：量と測定「面積」

概 要：

大和川小学校は、これまで各教科の授業で「一人で」「みんなと」「さらに」という場を設けたり、算数では「は・か・せ（速く・簡単・正確）」の視点を子どもたちと共有したりする授業づくり取り組んでこられた。当日の授業では、一人で考える姿や話し合う姿、発言の様子・内容から、これまでの取組の成果を見て取ることができた。また、本単元では、いろいろな形の面積の求め方を分類・ネーミングし、そのネーミングを用いて子どもたちが求積方法の説明を行う授業を積み重ねてきた。そのため、子どもたちが共通の土俵に立ち、面積の求め方の説明を簡潔に行ったり、その理解がよくなされたりしていた。授業者のコントロールのもと、子どもたちが主体的に仲間とかかわり合いながら、面積の求め方を導き学級で共有する素晴らしい授業だった。

授業協議会は小中学校教員が5、6人のグループに分かれ、研究主題に関わる内容、本単元の手立て、本時の子どもの姿など様々な視点からの意見交換を行った。協議会最後の時間でそれぞれのグループでの内容を紹介し合った。

授業協議会の後に、上越教育事務所学校支援第2課指導主事 山本 浩昭 様からご指導いただいた。参会者に数学の問題を出題し、参会者が隣同士で解答を考えることを通し、問題解決の授業では何が大切なのかを具体的にご指導いただいた。

4 成果と課題

糸魚川市は小規模な小学校が多く、大人数で授業を参観し協議する機会が少ない。今回は多くの小中学校教員が授業を参観し、小グループで活発に意見交換を行い、最後に全体でその内容を共有した。小学校算数・中学校数学という視点、小学校低中高学年の授業者という視点などから意見交換を行うことができ、大変に有意義であった。